

授業科目	ゲノム薬理学と EBM				科目区分	臨床研究専門教育科目	
担当教員	(世話人) 新納 宏昭 教授				単位数	1単位	
授業概要	<p>ゲノム薬理学の最新知見を学び、また、臨床の現場で行われているエビデンス構築のための実際の研究について学習する。これらの臨床研究において、どのようにゲノム薬理学を活用して行くべきかについて考察する。</p> <p>(英訳: The purpose of this class is to learn the latest knowledge of pharmacogenomics as well as the actual research projects for EBM in clinical practice. It is also discussed how we can take advantage of pharmacogenomics in these research projects.)</p>						
全体の教育目標	今後の治験を含む臨床研究において、ゲノム薬理学研究の重要性が叫ばれている。本研究の最新知見を学習するとともに、各種疾患領域のエビデンス構築状況について学習する。						
個別の学習目標							
授業計画	回	月日	曜日	時限	授業内容	担当教員	講義室
	1	10/1	火	6	精神神経疾患のエビデンス構築状況	精神病態医学 菅原 裕子	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	2	10/1	火	7	脳血管疾患のエビデンス構築状況	第2内科 吾郷 哲朗	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	3	10/8	火	6	ゲノム薬理学	薬剤部 廣田 豪	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	4	10/8	火	7	腫瘍性疾患のエビデンス構築状況	社会環境医学講座 馬場 英司	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	5	10/15	火	6	代謝疾患のエビデンス構築状況	第3内科 藤田 政道	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	6	10/15	火	7	感染症のエビデンス構築状況	総合診療科 下野 信行	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
	7	10/22	火	6	免疫系疾患のエビデンス構築状況	医学教育学講座 新納 宏昭	オンライン (Zoomによるウェビナー方式)
テキスト							
参考書							
成績評価の方法	授業中の態度や質疑応答をもって評価する。						
その他							